UD視点 1　教室環境

教室は、日々児童生徒が生活し、学習する場所です。しかし、学級の実態に合わせた教室環境に配慮しないと、学びにくく生活しづらい場所になってしまいます。どの児童生徒も安心でき、落ち着いて過ごせるようにするために、学習用具などの整理整頓の仕方、児童生徒の座席の位置、掲示物などについて配慮し、整然としたわかりやすい教室環境になるように工夫しましょう。

児童生徒の困っている状況　**UDの視点による支援や配慮のポイント**

①　教室の整理整頓の仕方を決めて指導している。（学級のもの・個人のもの）

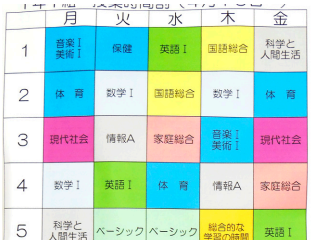
学習の準備ができない、すぐに活動に取り組めない、授業に集中できない

視覚刺激に影響を受けやすい児童生徒は、雑然とした環境が苦手です。また、何をどのように整理整頓したらよいかわからない状況は、居心地が悪く不安を感じさせます。

様々なものについてきちんと置き場所を決め、わかりやすく整理整頓の仕方を指導することが必要です。学級全体にとって集中しやすい教室環境をつくりましょう。

＜整理整頓の仕方　例＞

■学級や個人のもの、提出物について、何を、どこに、どのように置くのかを決める。
■言葉の指示だけでなく、絵や写真による整理整頓の見本を示す。
■整理整頓の表示では、定着状況に応じて、文字の表記や色などを変え、視覚的な効果を図る。
■教科ごとの色を決める。ファイルや時間割の色も統一する。



	月	火	水	木	金
1	音楽Ⅰ 美術Ⅰ	保健	英語Ⅰ	国語総合	科学と人間生活
2	体　育	数学Ⅰ	国語総合	数学Ⅰ	体　育
3	現代社会	情報A	家庭総合	音楽Ⅰ 美術Ⅰ	現代社会
4	数学Ⅰ	英語Ⅰ	体　育	情報A	家庭総合
5	科学と人間生活	ベーシック	ベーシック	総合的な学習の時間	英語Ⅰ

②　児童生徒の実態に合わせた座席の位置を決めて指導している。

学級が落ち着かない、座席の近い児童生徒同士のトラブルがある、隣同士や班の話し合いがうまく機能しない

学級担任

教師の意図を明確にした座席の位置を決めることで、学習効果はもちろん、様々な児童生徒のかかわりが生まれ、学級全体の社会性が養われていくことが期待できます。「いつも一人一人を見守っています。」という教師のメッセージを送ってみましょう。

＜座席の位置の配慮　例＞

■視力や聴力、その他身体的な面で配慮を要する児童生徒の座席を確保する。
■配慮を要する児童生徒には、教師やモデルとなる友だちの近くの座席を検討する。
■児童生徒同士の関係を考慮して班を編成する。

教科担任

学級の実態や学級担任の意図を十分に把握した上で、教科の特性（特別教室のつくり、学習内容や活動など）に合わせた座席の位置を考えましょう。

③ 学習時の視覚刺激の量に配慮している。（前面の黒板とその周囲、壁面の掲示物の精選など）

板書に視線が向けられていない、授業に集中できない

学級担任

視覚刺激に影響を受けやすい児童生徒にとって、必要以上の視覚情報は、どこに注目したらよいかがわかりにくく、集中して学習できない要因になります。

余分な視覚刺激をできるだけ少なくし、大事な視覚情報がわかりやすく伝わることで、学級全体にとっても、授業への集中と理解の向上が図られます。

＜視覚刺激の量の配慮　例＞

■教室の掲示物を精選する。特に、黒板とその周囲、壁面の掲示物など。
■過度な視覚刺激となる掲示物の色使いに配慮する。

教科担任

学級の実態を十分に把握した上で、教科の特性（特別教室のつくり、学習内容や活動など）に合わせて、掲示物の精選などを行うことが大切です。

④ 一週間や一日の予定などのスケジュールを見やすく掲示して指導している。

行動が遅れる、積極的に活動していない、忘れ物が多い

一週間や一日の流れ、それぞれの時間に準備するものが見える形で示してあると、言葉の指示だけでは取り組むことが苦手な児童生徒にとっては、わかりやすく安心できる状況になります。

学級全体にとっても、スケジュールの確認ができるので、忘れ物が減り、授業への意欲を高め、積極的な取組みにつながります。

提示する情報が多くなると、逆に混乱させてしまうこともあるので、目的が済んだら、すぐに消すように心がけましょう。

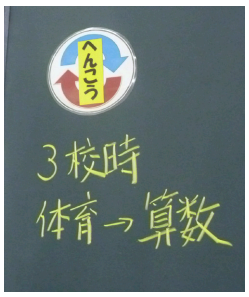
⑤ 急な連絡や予定の変更は、視覚的にわかりやすく伝えている。

急な連絡や予定の変更で不安を感じている、変更の指示をしても伝わっていない

急な連絡や予定の変更は、自分の見通しの修正を迫られ、新たな課題に不安を抱く要因になり、誰もが心乱れるものです。

そうした修正への対応を苦手とする自閉的傾向の児童生徒に対しては、改めてわかりやすく情報を提供し、安心感を持たせることが必要です。

学級全体にとっても、混乱を最小限におさえ、児童生徒との信頼関係を築くことにつながります。

＜急な連絡や予定の変更の伝え方　例＞

■言葉の指示だけでなく、板書や掲示などで新しい情報を伝える。
■情報量が多い場合は、紙面に印刷して配付する。